



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日

上場会社名 株式会社G-7ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7508 URL <https://www.g-7holdings.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 金田 達三  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 安正 TEL 078-797-7705  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	173,912	8.8	5,900	2.7	6,263	3.5	4,198	8.1
2025年3月期第3四半期	159,797	9.7	5,747	1.3	6,050	1.5	3,884	△6.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,081百万円 (1.2%) 2025年3月期第3四半期 4,034百万円 (1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	96.04	—
2025年3月期第3四半期	88.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	82,291	34,931	42.4
2025年3月期	70,693	32,574	46.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 34,931百万円 2025年3月期 32,574百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	20.00	—		
2026年3月期（予想）				50.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭、創業50周年記念配当 30円00銭

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.4	8,500	19.3	8,600	15.2	5,700	15.4	130.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社G-7ミートプランニング、除外 1社 (社名) 株式会社ボン・サンテ

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記」を参照してください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	44,071,454株	2025年3月期	44,071,454株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	352,906株	2025年3月期	368,766株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	43,713,281株	2025年3月期3Q	43,857,885株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記及び資料に記載した業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものであります。実際の業績は様々な重要な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、継続する物価上昇の個人消費への影響や米国の通商政策を含む国際情勢の不安定化などによる影響の懸念等もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。小売業界におきましては、仕入価格をはじめとしたコスト増加、さらなる物価上昇による消費マインドの低下の恐れや、業種・業態の垣根を越えた競争激化等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のなかで、当社グループは、人間尊重を経営基盤とし、顧客第一主義、現地現場主義によって顧客・株主・従業員・地域社会等のステークホルダーの満足度向上に向けた経営を実践してまいりました。また、新たな経営テーマとして、業務フローの革新とDX推進による生産性向上に取り組み、働きたい会社・選ばれる会社を目指し、収益力の拡大に取り組みました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は 173,912百万円（前年同期比 8.8%増）、営業利益は 5,900百万円（前年同期比 2.7%増）、経常利益は 6,263百万円（前年同期比 3.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 4,198百万円（前年同期比 8.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

車関連事業につきましては、お客様のトータルカーライフを充実させるべく、タイヤやメンテナンス商品の拡販及び車検・車販売をきっかけとした再来店の促進に取り組みました。オイル・バッテリーの消耗品やタイヤなどの販売が堅調に推移したものの、不安定な天候により冬用タイヤなどの冬季用品の販売は低迷し、利益面では減少しました。新規出店につきましては、「バイクワールド」をマレーシアに1店舗オープンしたことにより、当第3四半期末における「バイクワールド」の店舗数は20店舗となりました。これにより、売上高は 36,019百万円（前年同期比 3.6%増）となり、経常利益は 1,802百万円（同 0.0%減）となりました。

業務スーパー事業につきましては、新規出店による増収効果に加え、食料品や日用品が相次いで値上がりするなか、業務スーパーオリジナルの日常に便利なPB商品を低価格で提供し続けたこと等により、地域のお客様に支持され、販売は堅調に推移しました。一方、新規出店費用及び既存店舗のリニューアルに伴う改装費用、のれん償却費等の増加もあり、利益面では伸び悩みました。新規出店につきましては、「業務スーパー」を北海道に2店舗、中部圏に3店舗、近畿圏に1店舗、九州圏に1店舗オープンしたことにより、当第3四半期末における「業務スーパー」の店舗数は222店舗となりました。これにより、売上高は 100,662百万円（前年同期比 9.5%増）となり、経常利益は 3,652百万円（同 0.0%増）となりました。

精肉事業につきましては、原材料価格の高止まりや物流費の上昇が続くなか、安心安全な商品の安定供給に努めました。新規出店による増収効果に加え、2025年10月から群馬県高崎市に拠点を置き、牛タンの加工・卸販売を行う株式会社ミートプランニングを連結子会社化したことにより、売上及び利益面ともに前年同期を上回りました。新規出店につきましては、「お肉のてらばやし」を北海道に2店舗、首都圏に1店舗、中部圏に3店舗、近畿圏に2店舗、九州圏に2店舗オープンしたことにより、当第3四半期末における「お肉のてらばやし」の店舗数は189店舗となりました。これにより、売上高は 17,739百万円（前年同期比 11.7%増）となり、経常利益は 217百万円（同 34.3%増）となりました。

その他事業につきましては、厳選商品の卸売販売を行う「こだわり食品」が取引先の新規開拓及び商材の発掘により、販売が堅調に推移しました。また、EC事業で主にブランド腕時計を販売する「neel」が売上に寄与したこと等により、売上及び利益面ともに前年同期を上回りました。これにより、売上高は 19,491百万円（前年同期比 13.4%増）となり、経常利益は 331百万円（同 10.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 11,597百万円増加し 82,291百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ 9,240百万円増加し 47,359百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ 2,356百万円増加し 34,931百万円となり自己資本比率は 42.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、2025年5月13日発表の公表値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,869	18,418
売掛金	6,893	9,151
商品及び製品	9,108	12,647
その他	2,041	2,342
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	34,898	42,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,830	32,702
減価償却累計額	△18,747	△19,370
建物及び構築物（純額）	12,082	13,332
機械装置及び運搬具	2,615	2,824
減価償却累計額	△1,898	△2,011
機械装置及び運搬具（純額）	716	813
土地	6,346	6,859
建設仮勘定	321	120
その他	9,835	10,585
減価償却累計額	△7,621	△8,093
その他（純額）	2,213	2,491
有形固定資産合計	21,681	23,616
無形固定資産		
のれん	4,617	6,032
その他	350	483
無形固定資産合計	4,967	6,516
投資その他の資産		
投資有価証券	123	399
敷金及び保証金	6,145	6,147
繰延税金資産	2,734	2,834
その他	211	306
貸倒引当金	△69	△68
投資その他の資産合計	9,145	9,618
固定資産合計	35,795	39,751
資産合計	70,693	82,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,877	12,431
短期借入金	9,360	10,019
未払法人税等	1,184	1,268
賞与引当金	1,048	444
その他	5,917	6,414
流動負債合計	27,387	30,579
固定負債		
長期借入金	4,650	10,695
再評価に係る繰延税金負債	43	43
役員退職慰労引当金	78	78
資産除去債務	4,346	4,360
退職給付に係る負債	790	754
その他	822	848
固定負債合計	10,731	16,780
負債合計	38,118	47,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,791	1,791
資本剰余金	2,789	2,789
利益剰余金	29,007	31,453
自己株式	△625	△598
株主資本合計	32,964	35,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	△5
土地再評価差額金	△515	△515
為替換算調整勘定	22	△0
退職給付に係る調整累計額	65	16
その他の包括利益累計額合計	△389	△505
純資産合計	32,574	34,931
負債純資産合計	70,693	82,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	159,797	173,912
売上原価	120,955	131,756
売上総利益	38,841	42,156
販売費及び一般管理費	33,094	36,255
営業利益	5,747	5,900
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	2	2
受取手数料	134	142
協賛金収入	210	234
為替差益	60	84
その他	75	150
営業外収益合計	485	622
営業外費用		
支払利息	48	101
固定資産処分損	98	130
その他	34	26
営業外費用合計	182	258
経常利益	6,050	6,263
特別利益		
貸倒引当金戻入額	110	—
特別利益合計	110	—
特別損失		
減損損失	13	5
関係会社清算損	193	—
特別損失合計	207	5
税金等調整前四半期純利益	5,953	6,258
法人税等	2,068	2,060
四半期純利益	3,884	4,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,884	4,198

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,884	4,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△43
為替換算調整勘定	164	△23
退職給付に係る調整額	△1	△49
その他の包括利益合計	149	△116
四半期包括利益	4,034	4,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,034	4,081
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました株式会社ボン・サンテは、2025年4月1日付で当社の連結子会社である株式会社G - 7 スーパーマートを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲より除外しております。

当第3四半期連結会計期間より、株式会社ミートプランニングの株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。また、2025年10月1日付で「株式会社G - 7 ミートプランニング」に商号変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,992百万円	2,065百万円
のれんの償却額	221	424

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車関連事業	業務スーパー 事業	精肉事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	34,552	91,911	15,881	142,346	16,800	159,146	—	159,146
その他の収益	229	36	—	266	383	650	—	650
外部顧客への 売上高	34,782	91,948	15,881	142,612	17,184	159,797	—	159,797
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8	1,156	6	1,171	24	1,195	△1,195	—
計	34,790	93,104	15,888	143,784	17,208	160,992	△1,195	159,797
セグメント利益	1,802	3,651	161	5,615	300	5,916	133	6,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、こだわり食品事業、アグリ事業、ミニスーパー事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 133百万円には、セグメント間取引消去等による 1,483百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1,349百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの資産に関する事項

中間連結会計期間において、株式会社ボン・サンテの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。株式会社ボン・サンテを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「業務スーパー事業」において 2,441百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間において、新和自動車株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。新和自動車株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「車関連事業」において 1,482百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」において、店舗の閉店が決定されたことにより、減損損失を 12百万円計上しております。

「業務スーパー事業」において、中間連結会計期間に株式会社ボン・サンテを連結子会社としたことについて、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額でしたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額を 4,049百万円に修正しております。

「車関連事業」において、当第3四半期連結会計期間に新和自動車株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は、295百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車関連事業	業務スーパー 事業	精肉事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	35,773	100,626	17,739	154,139	19,160	173,299	—	173,299
その他の収益	246	36	—	282	330	613	—	613
外部顧客への 売上高	36,019	100,662	17,739	154,421	19,491	173,912	—	173,912
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	1,217	7	1,228	25	1,253	△1,253	—
計	36,022	101,880	17,746	155,649	19,516	175,166	△1,253	173,912
セグメント利益	1,802	3,652	217	5,671	331	6,003	260	6,263

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、こだわり食品事業、アグリ事業、ミニスーパー事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 260百万円には、セグメント間取引消去等による 1,599百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1,338百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの資産に関する事項

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ミートプランニング(2025年10月1日付で「株式会社G - 7 ミートプランニング」に商号変更しております。)の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。同社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「精肉事業」において 4,099百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」において、店舗の閉店が決定されたことにより、減損損失を 5百万円計上しております。

「精肉事業」において、当第3四半期連結会計期間に株式会社ミートプランニング(2025年10月1日付で「株式会社G - 7 ミートプランニング」に商号変更しております。)の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は、1,840百万円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1 企業結合の概況

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ミートプランニング
事業の内容	食肉加工卸業

②企業結合を行った主な理由

ミートプランニングは、群馬県高崎市に本社工場を置き、主として全国の焼肉店等への牛タンの加工・卸販売を行っております。当社グループは、フランチャイジーとして展開する業務スーパー事業や車関連事業に次ぐ、第3セグメントである精肉分野の強化・拡大を図り、食肉小売を業とする当社子会社である株式会社G - 7 ミートテラバヤシの事業とのシナジー効果が期待できることから、本件株式取得を決定いたしました。

③企業結合日

2025年10月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ミートプランニング

(2025年10月1日付で「株式会社G - 7 ミートプランニング」に商号変更しております。)

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

株式会社G - 7 ホールディングスが現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2025年12月31日まで

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,091百万円
取得原価		3,091百万円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

1,840百万円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の収益力から発生するものであります。

③償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却